

ふっさ花とみどりの会

平成 22 年 2 月 発行
かんきょう通信 3 面

エコな人々
in 福生

福生を花とみどりの街に

ふっさ花とみどりの会



ふっさ花とみどりの会
平本会長

昨年9月、新聞等で報道された「国道16号をヤシ並木に」という記事をご記憶の方も多いと思いますが、いよいよ今年実現されます。これは国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用した「花とみどりで街の活性化」事業を進める中で、横田商栄会と福生武蔵野商店街から要望のあったヤシの木の植樹を検討した結果、実現するものです。2kmの沿道を、ワシントンヤシの巨木が勢ぞろいすると、気分はカリフォルニア…でしょうか。

この事業は地域と行政が一体となったボランティアサポートプログラムを活用して維持管理します。商店街とともに協働のパートナーとなるのが「ふっさ花とみどりの会」です。会長の平本富夫さんにお話をうかがいました。

この会が生まれたいきさつは？

福生では平成2年度から農業委員会が中心となり、「花いっぱい運動」がスタートし、平成5年にその運動を幅広いものにするため、「グリーンクラブ福生」が設立されています。

さらに多くの市民の参加を得、平成20年にこの会が設立されました。

では、この会の目的や趣旨はなんですか？

会の理念は「花いっぱい運動をとおして、多様な主体との協働による花や緑を生かした街づくりの展開」です。事業展開するときの考え方は

- ①花いっぱい運動を通して、心の通い合うコミュニティをつくる。
- ②花いっぱい運動から「福生らしさ」を確立していく。
- ③環境に配慮した地域社会をつくるを柱にし、推進する。

今後の活動はどんなことを計画されていますか？

16号のヤシ並木と同時にやなぎ通りのプランター設置があります。これも商店や事務所、沿道にお住まいの方の協力を得て実施するものですが、花とみどりの中心軸が生まれることを期待しています。今後は植栽管理等を関係団体に委ねたり、ボランティア団体を積極的に募り、市民参加の活動を目指します。フラワーロードやゾーンもテーマを持ったものにし、福生らしさを追求したいですね。それには他の団体や組織とも積極的に情報交換をし、街づくりの一助になれば良いと思っています。

※花とみどりの会ではボランティアを募集しています。お問合せは環境課へ。



国道16号 ヤシの木のイメージ